

科目名	単位数		対象年次	履修	開講回数	必要 面接時数	添削 指導回数
ハッピー・イングリッシュ	前期	1	2年次	選択	12	5	3
	後期	1			12	5	3
使用教科書	西東社 新版 一番やさしい基本の日常英会話 CDつき (Betty Palen)						
科目の概要	基本的な英会話の演習のほか、発音とイントネーションの練習、アクティビティを通して、英語を楽しむことを目標としています。						
年間 学習 計画	学習内容		主な学習のポイント		面接指導	添削課題	
	・かんたん便利な基本のフレーズ (1・2回目) ・あいさつと基本会話 (3・4回目)		○ 会話でよく使われる定型表現を覚え、内容を言い換えながら練習する。また、相手の発言にリアクションする言葉を学ぶ。 ○ さまざまな場面における基本的なあいさつや、お礼やおわびの表現を練習する。また、相づちの打ち方、わからない場合の聞き返し、賛成・反対意見の言い方を学ぶ。		前期 1～4	No.1	
	・日常会話① (5・6回目) ・日常会話② (7・8回目)		○ 「電話 (かける・受けるなど)」「交通 (電車・バス・タクシーなど)」「街で (場所を聞かれる・困っている人に話しかけるなど)」の中から会話表現を学ぶ。 ○ 対面の対話形式で、実際の場面でも使えるように練習する。		前期 5～8	No.2	
	・日常会話③ (9・10回目) ・日常会話④ (11・12回目)		○ 「買い物 (売り場を聞く・食品を買う・洋服の色やサイズ・値段を聞くなど)」「学校 (学校での勉強や授業など)」「食事 (店を決める・店に入る・料理を決める・支払いなど)」の中から会話表現を学ぶ。 ○ 対面の対話形式で、実際の場面でも使えるように練習する。		前期 9～12	No.3	
	・日常会話⑤ (1・2回目) ・日常会話⑥ (3・4回目)		○ 「招待する (予定を話す・家を教える・飲み物を勧めるなど)」「招待される (承諾を伝える・不都合を伝えるなど)」「パーティ (紹介された人と話す・料理を食べる・お礼を言うなど)」の中から会話表現を学ぶ。 ○ 対面の対話形式で、実際の場面でも使えるように練習する。		後期 1～4	No.4	
	・日常会話⑦ (5・6回目) ・日常会話⑧ (7・8回目)		○ 「案内 (名所を聞かれる・店を聞かれるなど)」「相談 (相談を受けるなど)」「緊急 (事故・災害・病気など)」の中から会話表現を学ぶ。 ○ 対面の対話形式で、実際の場面でも使えるように練習する。		後期 5～8	No.5	
	・話題① (9・10回目) ・話題② (11・12回目)		○ 会話のきっかけとなる話のふり方から、天気・休暇・趣味・食べ物・旅行・スポーツ・読書・映画・音楽など、さまざまな話題に関する表現を学ぶ。 ○ 対面の対話形式で、実際の場面でも使えるように練習する。		後期 9～12	No.6	
	評価 方法	・ 面接指導 (スクーリング) への取り組み(意欲、興味、関心、理解度など) ・ 添削課題 (レポート) ・ 試験 (テスト)					
単位 修得	・ 面接指導 (スクーリング) は、前期・後期各5時間以上出席してください。 ・ 添削課題 (レポート) を前期・後期各3回提出してください。 ・ 2年次で2単位修得します。						